

健康博覧会 2015 参加報告書

健康博覧会 2015 が、2015 年 3 月 11 日～13 日の 3 日にわたって東京ビッグサイトで開催され、健康関連産業について情報収集するために参加してきました。今回の博覧会では「健康食品・サプリメント展」、「ビューティ&アンチエイジング展」、「オーガニック&ナチュラル・プロダクツ展」、「フィットネス&スポーツ展」、「健康機器展」の 5 つのエリアに、商材ご



とに分類した展示会が開催され、事務局に確認したところ 38,000 人以上が来場したということです。

今回は特に、食品機能性表示制度が 4 月 1 日に施行されるということもあり、関連のセミナーも日本健康科学学会主催の 6 講座をはじめ合計で 14 講座が行われ、延べ 1,000 人を超える聴講者がいました。施行直前ということでどの講座もほぼ満席でしたが、先日公開されたガイダンス案から判断して、トクホと比較すると使いやすい制度であるとは言え、中小・零細企業ではハードルが高めになると考えられる点について、どのような支援が考えられ、どのように安全性やエビデンスを準備していけば良いか、今後の展望も含めた内容の講演が高い関心を集めていました。

エリア別の各展示会の状況については、「オーガニック&ナチュラル・プロダクツ展」が例年以上に力が入っている感があり、一般社団法人日本スーパーフード協会主催のセミナー「スーパーフード最前線」も、多くの聴講者で賑わった他、協会がスーパーフードとして取り上げているアサイーやスピルリナ、チアシード、ゴジベリー等の素材を扱うブースには多くの来場者が立ち寄



り、中でも最近ブームになったココナッツオイル関連食品は集中展示コーナーが設けられ、ココナッツ関連の出展も14社にもものぼるなど消費者ニーズの高まりに対応する会場作りがなされていると感じました。



「健康食品・サプリメント展」では、国の方針として健康寿命延伸が挙げられたことから、認知症の予防を謳う機能性素材の出展も多くみられ、他にも疲労回復や抗疲労、抗ロコモ素材等のブースが目につきました。

また、「ビューティ&アンチエイジング展」では前述のスーパーフードをはじめ、「水素」、「酵素」等がトレ

ンドとして数十社の出展企業が並ぶエリアには多くの来場者が立ち寄り、大いに盛り上がっていました。特に水素関連の商材はアルミパウチの水素水や、水道水から水素水をつくる水素水サーバーや携帯式水素水生成器等の飲料水だけではなく、水素風呂や水素シャンプーなど多様なものが出展されていました。他にも「フィットネス&スポーツ展」、「健康機器展」では健康寿命延伸産業の中でも、運動や睡眠に対する様々なアプローチの出展があり、ヘルスケア業界での国内最大規模の展示会ならではの活気が感じられました。

機能性表示制度の施行直前ということで、注目度も高かった今回の健康博覧会2015でしたが、開催時点でのガイドライン案では安全性や機能性に関して中小企業にはなかなかのハードルであると考えられ、セミナーや出展ブースでも届け出支援や臨床試験受託などの様々な支援事業によるビジネスが広がっていくことが予想される内容でした。そのため、北海道食品機能性表示制度（ヘルシーDo）は、4月以降も北海道中小企業にとって機能性食品の差別化の手段として、かわらずに重要な位置づけとなると考えられます。

その一方で、今後の展開としてヘルシーDo認定品を機能性表示食品へとしていくことも必要になってくるとも考えられますので、そのために必要な運用方法や手順等を事前に検討していかなければならないとも思いました。

今回、視察という形で参加の機会をいただき、健康寿命延伸産業における最新トレンドや、機能性表示制度に関する業界の動きや課題を把握する事が出来たことを、深く感謝いたします。得られた情報をもとに、北海道経済の活性化に少しでも貢献する事が出来るように努力して参りたいと思います。